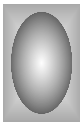


第9回日本発汗学会総会のご案内

1. 会 頭：
北神経内科平山記念クリニック院長 北 耕平
2. 会 期：平成13年9月7日(金)～8日(土)
3. 会 場：山の上ホテル(別館2階 海の間)
(JR御茶ノ水駅から徒歩4分)
〒101 0062 東京都千代田区神田駿河台1 1
Tel. 03 3293 2311(代)
4. プログラム：
 - 1) 会頭講演：
発汗障害の病態と治療 神経内科の立場から
北 耕平(北神経内科平山記念クリニック)
 - 2) 特別講演：
「精神性発汗」の精神医学的意味について
四宮滋子(しのみやクリニック)
 - 3) シンポジウム1：
発汗測定法の進歩
 - 1) 差分方式による2チャンネル携帯型発汗計
菊地雅博(株式会社スキノス技術部)
 - 2) 赤外線カメラを用いた分光画像による発汗
検出法
宮永敦子
(株式会社シースターコーポレーション)
 - 3) ヒト発汗活動の直接観察
津田孝雄(名古屋工業大学応用科学科)
 - 4) シンポジウム2：
発汗におけるQOL(生活の質)
 - 1) 化粧品と発汗
大枝一朗(カネボウ株式会社化粧品研究所)
 - 2) 制汗剤の開発とその機能
小出倫正
(ライオン株式会社ビューティケア研究所)
 - 3) 発汗と衣服
土田和義(東洋紡績株式会社環境・技術部)
 - 5) 一般演題：
口演6分，討論6分を予定しております。
15題



国際スポーツ医科学ネットワークフォーラム長野2001

21世紀に向けての新しい研究パラダイムの確立

International Sports Science Network Forum in Nagano 2001: Challenge to Research Paradigm for the 21st Century

主 催：フォーラム実行委員会

後 援：日本学術振興会，日本体力医学会，
日本生理学会

開催期間：2001年10月17日(水)，18日(木)，
19日(金)

開催地：

〒398 0001 長野県大町市日向山高原

くろよんロイヤルホテル

TEL 0261 22 1530 / FAX 0261 23 2098

会議の目的と特徴：

体育系と医学系の若手研究者を中心とした全く

新しいタイプの国際フォーラム。過去2年間連続開催されたGSSI-Sports Science Network Forum in Nagano1999, 2000に続いて今年で3回目。「現場で役立つ新しいスポーツ医科学の研究パラダイムの確立」をめざす。米国から著名な研究者を招待し，同時通訳によって活発な討議を行う。国際的批判を受けるために発表と討議の内容を米国の出版社から論文集として出版する。

日程および口演者：(演題は仮)

10月17日(水)

18：30～20：30 レセプション

10月18日(木)

7：30～8：20 運動トレーニングによる運動

単位適応：

- 8 : 30 ~ 9 : 20 R. Enoka , Colorado 大学
筋内の求心性情報が自律神
経活動の応答に果たす役
割 :
林 直亨 , 大阪大学
- 9 : 30 ~ 10 : 20 運動時の活動筋血流調節
M. Joyner , Mayo Clinic
and Foundation
- 10 : 30 ~ 11 : 20 運動開始時の肺および筋肉
の酸素摂取応答
古賀俊策 , 神戸芸術工科大
学
- 12 : 30 ~ 13 : 20 筋の可塑性と遺伝子発現
R. Richardson , California
大学 , San Diego 校
- 13 : 30 ~ 14 : 20 筋エネルギー代謝の非侵襲
測定と局所筋に対する運動
処方
浜岡隆文 , 東京医科大学
- 14 : 30 ~ 15 : 20 体液調節からみた暑熱適応
M. Sawka , US Army In-
stitute of Environmental
Medicine
- 18 : 30 ~ 20 : 30 懇親会
特別講演 (未定 : トップア
スリートまたはコーチの
方)
- 10月19日 (金)
7 : 30 ~ 8 : 20 運動時の体温調節反応の評
価と運動処方
山崎文夫 , 産業医科大学
- 8 : 30 ~ 9 : 20 高齢者の脱水回復時水分塩
分摂取の特徴
G. Mack , Yale 大学
- 9 : 30 ~ 10 : 20 インスリン非依存性の糖取
り込みと運動処方
徳山薫平 , 筑波大学
- 10 : 30 ~ 11 : 20 効果的な骨格筋蛋白合成の
ための栄養補給と運動処方
岡村浩嗣 , 大阪体育大学
- 12 : 30 ~ 13 : 20 運動トレーニングと心疾患
患者のリハビリテーション
への効果
B. Levine , Texas 大学
- 13 : 30 ~ 14 : 20 日本人の異常なエネルギー
摂取量と消費量とその原因
および対策
山本 茂 , 徳島大学
- * 一般演題募集は行いませんが , 来聴および討議
参加を歓迎致します (参加費無料) .
- * 宿泊希望の方は9月14日 (金) までに下記に
ご連絡下さい .
- * 朝食及びレセプション (または懇親会) 参加費
込みで一泊 ¥ 20,000 (一般) , ¥ 12,000 (学生)
です (税 , サ込み) .
- 「事務局」
〒390 8621 松本市旭3 1 1
信州大学医学部附属加齢適応研究センター・
スポーツ医学分野 大槻亜美
TEL 0263 37 2682/FAX 0263 34 6721/
i-sports@sch.md.shinshu-u.ac.jp